

審議した主な議案

障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例

条例の概要は1面に掲載しています。

反対討論 (要旨) ※修正案に賛成

森戸洋子 (日本共産党)

市は、国の法律との整合性を図ることを理由に、修正意見に消極的だった。国は、上乗せ・横出し条例を認めている。市は、国の法律と向き合うのではなく、障害者・当事者等と向き合うべきである。時間の関係から修正部分に盛り込めなかった項目は、今後の小金井市地域自立支援協議会での議論に委ねる。

反対討論 (要旨) ※修正案に賛成

紀由紀子 (公明党)

条例制定のため2年半にわたって検討された地域自立支援協議会の皆様のご苦労に感謝と敬意を表したい。公明党は昨年、飯能市の例を示し、既に合理的配慮を求めてきた。より良い条例にとの願いを受け、防災・災害時やコミュニケーション手段の普及啓発、療育を修正案に追加した。条例を周知実現したい。

平成30年度一般会計補正予算(第1回)

予算の概要は1面に掲載しています。

賛成討論 (要旨)

湯沢綾子 (自民党・信頼)

庁舎・福祉会館は建設が急がれる一方、100億円もの費用を掛ける以上妥協もできない。市は予算提案前の準備が明らかに不十分。悩み議論を重ねた結果、

予算案はそのまま受け入れられるものではないが、公正で透明性の高い発注方式の再検討や複合化方針の策定、財政計画の精査等が約束されたため賛成する。

反対討論 (要旨)

水上洋志 (日本共産党)

市庁舎等の建設関連予算について、計画の具体的な内容が大変不十分であり、必要な検証や検討が行われないまま議決することは問題である。設計・施工の発注方式についての方向性、複合化の是非、清掃関連施設の暫定移設の必要性、財政計画など、予算を精査した上で出し直すべき。

賛成討論 (要旨)

小林正樹 (公明党)

100億円を超えると言われる100年に一度の大事業である庁舎・福祉会館建設のスタートには、余りにもさまざまな提案だと言わざるを得ない。定例会の質疑を通じて、発注方式等の再検討の方向性が示された。市民の多額の血税を投入する事業を行う自覚と責任を持ち、庁内一丸となり進めていただきたいと申し上げる。

賛成討論 (要旨)

鈴木成夫 (みらい)

年間約3億円の市役所第二庁舎の賃貸借契約の更なる延長を避けるためにも、庁舎と福祉会館問題は早急に解消すべき。発注契約方式は、DB、従来方式双方をフラットに検証し、その結果建設スケジュールが延伸した場合、二元代表制の一翼を担う市議会としても市民への説明責任を果たしていくべき。

賛成討論 (要旨)

白井 亨 (こがおも)

強引な進め方であったことから、市長の方針転換は評価をしたい。議会側も早期竣工を望むがスケジュール延伸を覚悟して様々な要望をした。できるだけ多くの議員が許容できる範囲の落とし所を見出して、気持ちとして一緒に、主体的により良い庁舎等建設に取り組んでいけるよう、環境を育んでいきたい。

賛成討論 (要旨)

斎藤康夫 (市民会議)

新庁舎と福祉会館建設の重要な命題は、早急に建設することである。早期建設は高齢者やハンディキャップを持つ方の心の支えである。また、平成34年の期日までに第二庁舎が返却できなければ、税金の無駄遣いであるとともに、市が自律できない自治体として信用・信頼を失うことになる。よって賛成する。

賛成討論 (要旨)

田頭祐子 (生活者ネット)

リース庁舎の早期解消につながる新庁舎の設計予算は進めるのが基本姿勢。しかし、施設複合化の基本方針が、予算上程時にも無いのは遺憾。複合すると市長の決断の遅れがこの事態を招いた。また敷地内の樹木の皆伐は反対。設計に市民の意見が反映できるタイミングで、意見聴取の場を複数回設けること。

賛成討論 (要旨)

沖浦あつし (こがあす)

蛇の目シン工場跡地への庁舎・福祉会館複合化建設の基本設計委託料等、具体的建設工程に入る本補正予算は、福祉会館の早期建設を求める多くの市民にとって、また、庁舎建設と清掃関連施設再整備の長年の積み残し課題の早期解消に向け、

大きな一歩を踏み出す予算であり、早期竣工に向け賛成する。

賛成討論 (要旨)

片山 薫 (市民カエル)

複合化方針策定の際、公民館本館を建設計画に入れ、市民参加の拠点を確保すること。清掃関連施設の敷地内暫定移設を行い、樹木を伐採する計画については見直しを。市議会や市民との一層の情報共有と合意形成が重要になる。新庁舎と福祉会館建設の全体責任者の配置を求める。

賛成討論 (要旨)

坂井えつ子 (緑・つながる)

市が選定した発注方式が適切であるか判断するのに十分な根拠は示されなかった。早期竣工を望むが竣工延伸も視野に入れつつ、再検討を求めた。市長方針が度々揺らぐようでは建設的な質疑ができない。市長は、自身の軸をより明確に持ち、市民や議会の声を聴き、市政運営にあたることを要望する。

職員定数条例の一部を改正する条例

6月1日の本会議において総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、6月15日、21日の計2回にわたり審査を行いました。本条例は、この間の行財政改革の取組の結果として、職員数が減少し、現在の職員定数790人と職員数との間に乖離が生じているため、適正な職員定数725人に改定するとともに、職員数の数え方を国の地方公共団体定員管理調査及び地方公務員給与実態調査と一致させ、分かりやすく整理するためのものです。

6月21日の委員会では、渡辺(大)委員による修正案及び宮下委員ほか1名による修正案の

2件を提出しましたが、いずれも否決した後、原案について起立採決の結果、起立少数により否決しました。

6月29日の本会議では、渡辺(大)議員ほか2名による修正案を提出し、否決した後、原案について起立採決の結果、起立少数により否決しました。

反対討論 (要旨)

板倉真也 (日本共産党)

反対の理由は次のとおり。①改正条例案の職員数725人は、増え続けている業務量への職員増の要求があっても、正規職員では対応しないものとなっているため。②求職者や育児休業者を定数の中に含める改正案となっており、職場に戻ってくるまでは、現行の人数で業務をこなすことが余儀なくされているため。

賛成討論 (要旨)

村山ひでき (みらい)

本陳情はJR中央線高架下スペースの有効活用を推進すべく、接道条件の緩和・改善を求める陳情書

賛成討論 (要旨)

全員協議会を開催しました

【6月12日】

【8月22日】

▼新庁舎及び(仮称)新福祉会館建設について

平成29年度 政務活動費収支報告

会派名	会派人数	交付額(A)(※1)	預金利子(B)	収入(A+B)(C)	支出額(D)	返還額(C-D)(※2)
自由民主党・信頼の小金井	5人	1,800,000円	8円	1,800,008円	1,280,705円	519,303円
日本共産党小金井市議団	4人	1,440,000円	2円	1,440,002円	1,405,211円	34,791円
小金井市議会公明党	4人	1,440,000円	4円	1,440,004円	1,120,414円	319,590円
小金井市議会民進党(※3)	3人	1,080,000円	0円	1,080,000円	909,978円	170,022円
緑・市民自治こがねい	2人	720,000円	0円	720,000円	615,464円	104,536円
小金井をおもしろくする会	1人	360,000円	0円	360,000円	355,998円	4,002円
こがねい市民会議	1人	360,000円	0円	360,000円	206,390円	153,610円
情報公開こがねい	1人	360,000円	0円	360,000円	349,184円	10,816円
改革連合(※4)	1人	—	—	—	—	—
生活者ネットワーク	1人	360,000円	1円	360,001円	359,883円	118円
小金井の明日をつくる会	1人	360,000円	1円	360,001円	51,491円	308,510円
合計	24人	8,280,000円	16円	8,280,016円	6,654,718円	1,625,298円

政務活動費は、議員の調査研究等に必要経費の一部として、議会における会派に対して交付するものです。各会派の収入・支出報告書、支出調書については、市ホームページに掲載しています。また、平成29年度政務活動費支出状況より、各会派の収入・支出整理簿や領収書等の写しを掲載しています。

- ※1 会派の所属人数に月額30,000円を乗じた金額を交付しています。
- ※2 残額は市に返還しています。
- ※3 平成29年度末時点の会派名です。
- ※4 平成29年度政務活動費を申請していません。

各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。